

整理番号:A000004558 発送番号:061004 発送日:平成16年 2月24日 1

拒絶理由通知書

| | |
|----------|-----------------|
| 特許出願の番号 | 特願 2000-233129 |
| 起案日 | 平成16年 2月18日 |
| 特許庁審査官 | 坂本 薫昭 9265 4R00 |
| 特許出願人代理人 | 鈴江 武彦 (外 6名) 様 |
| 適用条文 | 第29条第2項、第36条 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

16.4.24

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～5
- ・引用文献等 1
- ・備考

半導体集積回路のプロローピング試験方法において、テスト信号及び電源信号を複数の配線で形成することは、引用例1に記載されている。

なお、分割出願の明細書に記載された「テスト信号及び電源信号が、それぞれ全く独立に供給される工程」「独立、かつ、同時並列に供給される工程」及び「半導体集積回路チップの電気特性をそれぞれ全く独立に同時並列に測定する工程」は、原出願の出願当初の明細書又は図面に記載した事項の範囲内でないため、適法な分割出願としての要件を満たさない。したがって、出願日の遡及を認めない。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

よって、請求項1に係る発明は明確でない。

記

本願請求項1には「独立に供給される」「独立、かつ、同時並列に供給される」及び「全く独立に同時並列に測定する」との記載があるが、具体的な構成が不明であるため、本願発明が明瞭に把握できない。

引用文献等一覧

1. 特開平9-92694号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した技術分野 IPC第7版

H01L 21/66

この先行技術文献調査の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知書の内容に関する問い合わせ先

特許審査第三部 電子素材加工 審査官 坂本薫昭

電話 03-3581-1101 内線 6738